

第4回まちづくり懇談会(西国北口コレカラ懇談会)を開催しました!

【日 時】平成30年9月22日(土) 午前10時~11時50分
 【場 所】いずみホール(Bホール) 【参加者】32名



第4回懇談会では、第6回協議会で委員の方々からご提案いただいたランドデザイン案を紹介しながら、まちのデザインやアイデアについて意見交換を行いました。

■ご意見の一部を紹介します。

【駅前エリアの空間配置(施設・交通広場・歩行者空間)】

- 駅前高度利用し、空間を有効に活用する。
- 駅前エリアに中高層建物は要らない。
- 駅近くには、交通広場よりも産直野菜の直売所や人のための広場を優先した方がよい。
- 駅前エリアとしての範囲をもう少し広げて考えた方がよい。

【駅前広場の構造】

- 地下空間に交通広場を整備し、地上を歩行者広場とするのがよい。
- 2階に武蔵野線から直接アクセスできる歩行者広場を整備し、1階部分を交通広場にするのがよい。
- 複層型の駅前広場が良いと思うが、どの程度のコストかによって意見が変わると思う。
- 駅と住宅地の緩衝帯のような空間として歩行者広場がとれるとよい。

【地区内道路】

- 現在の交通量、宅地の状況等を考えると、既存道路網を前提とし、必要な路線を幅員6mの歩車共存道路として整備するのが最も現実的である。
- シンボル道路を整備する案は、現実性の問題はあるが、NYのようにコントラストがついた面白い街並みになると思う。

【その他】

- 既存の水源などを活用して、水と緑の回廊が整備できるとよい。
- 駅前からその周辺に向かって段階的にまちづくりを進めていったらどうか。

第7回まちづくり協議会を開催しました!

【日 時】平成30年12月20日(木) 午後3時~4時40分
 【場 所】いずみホールBホール



第7回協議会では、第6回協議会で委員の方々からご提案いただいたランドデザイン案を踏まえて、1つの協議会案として取りまとめるために、たたき台をもとに意見交換を行いました。

■ご意見の一部を紹介します。

【農 地】

- 農地の重要性について多く触れているが、これらは用途地域等の規制が厳しく、開発ができなかった結果残ってしまっただけであり、冬場は砂埃等の問題もある。また、農地は個人の土地であり、それらをコミュニティの資産であると位置づける必要があるのか疑問だ。
- 農地は災害時の一時避難所という役割も持っており、地域に貢献している。用途地域等の規制も農地が残っている要因の一つだが、生産緑地指定による納税猶予制度による制限により営農を続けている場合が多い。生産緑地法の改正も踏まえた上で、工夫して残していけたら良いのではないかと。

【駅前エリア】

- 人口減少社会を見据え、新たにつくり出す住宅ストックについては慎重な判断が必要とあるが、どう事業費を捻出するかを考えれば、ある程度の整備は避けては通れないのではないかと。
- 交通結節点の機能としてどのような役割や機能があり、それらを4つのエリアでどう役割分担していくかを整理した上で、北口に何が必要かを考えたら良いのではないかと。

【ランドデザインたたき台】

- ランドデザインについて、概ね皆「考え方は良い」と考えていると思うが、駅前の広場配置等については、もう少し明確にしていく議論が必要だ。

◎西国分寺駅北口周辺まちづくりに関する情報は、市のホームページでも紹介しています。市ホームページ、サイト内検索で [西国分寺駅北口周辺まちづくり](#) と入力して検索してください。

◎また、右記のQRコードからも国分寺市のサイトにアクセスできます。



2019.3
News
No.08

西国分寺駅北口周辺 まちづくりニュース

国分寺市 まちづくり部 まちづくり推進課

お知らせ! 第8回まちづくり協議会を開催しました!

【日 時】平成31年2月14日(木) 午後3時~4時40分
 【場 所】いずみホールBホール



西国分寺駅北口周辺地区では、平成29年6月から、まちづくり協議会を中心に、まちづくりの方向性(ブランドコンセプト)、まちの将来像(ランドデザイン)及びそれを実現するための具体化方策の検討を進めてきました。

第8回協議会では、約2年にわたる検討成果となる「西国分寺駅北口周辺まちづくり計画(素案)」について意見交換を行い、「西国分寺駅北口周辺まちづくり計画(案)」をとりまとめました。

今後は、「西国分寺駅北口周辺まちづくり計画」の決定に向け、国分寺市まちづくり条例に基づいた手続きを進めます。

まちづくり計画の決定手続き【平成31年度】



※この予定は現段階のものであり、変更の可能性もあります。

平成31年度より、市民説明会の開催や、国分寺市まちづくり市民会議での諮問答申等、国分寺市まちづくり条例に基づく手続きを進め、まちづくり計画を決定します。

本計画の決定により、本計画が国分寺市まちづくり条例に規定する市のまちづくり基本計画の一つに位置づけられ、地区における将来の様々な計画や事業については、これを基本として進めていくこととなります。



発行/国分寺市 まちづくり部 まちづくり推進課(担当:三田・井上)
 電話番号:042-325-0111(内線456) ファクス番号:042-324-0160
 E-mail:machisuishin@city.kokubunji.tokyo.jp

西国分寺駅北口周辺まちづくり計画（素案）の概要

西国分寺駅北口周辺地区グランドデザイン

西国分寺式庭園都市

— 既成市街地の個性を活かした再生修復型庭園都市 —

これまで、日本各地でイギリスの田園都市をモデルとした郊外都市が建設されてきました。田園調布を始めとするこれらの都市は、更地に新都市をつくることを目指すものであり、明快な都市軸を持ち、公共施設や緑地が幾何学的に配置された都市デザインを特徴としています。

これに対し、「西国分寺式庭園都市」は、既存の複雑な都市基盤の長所に着目し、これらを活かしながら公園・広場を始めとする公共空間（都市の庭、緑と水の回廊・軸）を整備・再生し、再編するとともに、都市の機能を更新することで、歩いて楽しむ庭園都市を目指すものです。

グランドデザインの検討の中では、都市の骨格については既存の道路網を前提として改善していくことが概ね共通の方向性であることが明らかになりました。また、まちのデザインを考える上では、4つのキーワード（「回遊する」—歩いて楽しいまち—、「風景をつくる」—農地や緑との調和、緑と水の回廊・軸—、「憩う・集う」—コミュニティの交流の場、駅から降りて立ち寄りたくなる場の創出—、「住みたい・住み続けたい」—居住機能を主体とした都市機能の更新—）が見えてきました。

これら4つをデザインキーワードとし、既存の道路網や閑静な住宅地、都市農地等のまちの個性を活かしながら、庭園都市として再生する、本地区のまちの将来像（グランドデザイン）として、「西国分寺式庭園都市」を提案します。



まちづくりの実現化方策の展開

西国分寺駅北口周辺地区のまちづくりの方向性（ブランドコンセプト）を達成するための実現化方策を、まちのデザインを考えるキーワードとなる4つの切り口でグランドデザインに展開します。

■ 3つのブランドコンセプト

暮らしやすい
魅力的な住宅都市

人が中心の都市デザイン

まちを育て誇りを育む
[エリアマネジメント]

■ 4つのデザインキーワード

回遊する
—歩いて楽しいまち—

風景をつくる
—農地や緑との調和、緑と水の回廊・軸—

憩う・集う
—コミュニティの交流の場、駅から降りて立ち寄りたくなる場の創出—

住みたい・住み続けたい
—居住機能を主体とした都市機能の更新—

駅周辺の4つのエリアの役割分担・回遊性の向上

西国分寺駅周辺の特徴は、鉄道2路線で分けられる4つのエリアによって拠点が構成されることにあります。

南側の2つのエリアについては、交通結節機能を持ち、このうち南東エリアは市民の憩いの場・公共施設の集積、南西エリアは史跡の玄関口の役割を担っています。

北東エリアについては、姿見の池をはじめとする緑に囲まれた落ち着いた住宅地が形成されています。

これら3つのエリアの役割や個性を踏まえ、西国分寺駅北口周辺地区は、歩いて楽しむ庭園都市として、国分寺市の住宅地の魅力を牽引していくとともに、4つのエリアに点在する緑や歴史資源を繋ぐルートを補完することで、回遊性を高める役割を担っていきます。



公共空間の整備・再生・再編

都市の庭

■ 都市の前庭

まちへのアプローチとなる駅前に、西国分寺駅北口周辺地区の魅力凝縮した魅力的な歩行者広場「都市の前庭」を整備し、広場と周辺の施設が一体となって、住民と来街者の交流が広がる空間の創出を目指します。



■ 都市の中庭

地区の中央部に、コミュニティの核となる広場「都市の中庭」を整備し、周辺の農地と連携して活動できる仕組みを構築することにより、農を楽しむ、コミュニティが交流する場の創出を目指します。またあわせて、コミュニティ施設、農を楽しむ施設の設置を検討します。



■ 都市の坪庭

地区内には9か所の公園が点在していますが、中には面積が小さく、利用もまばらな公園も見受けられます。これらの身近な公園を、住民参加のワークショップにより、多様で魅力的な公園に再生します。また、これらの活動を通じてコミュニティの交流を促進します。



緑と水の回廊・軸

■ 緑と水の回廊

地区の中央部に整備する「都市の中庭」と、西国分寺駅周辺に点在する緑や歴史資源を繋ぐルートをつくります。安全な歩行環境や案内板等の整備により、西国分寺駅周辺の4つのエリア全体の回遊性を向上します。



■ 緑と水の軸

「都市の前庭」と西恋ヶ窪緑地を繋ぐ「緑と水の軸」を整備することにより、駅南口の緑の軸（史跡通り）と連続する南北の歩行者の軸をつくります。「緑と水の回廊」と絡み合い、回遊性を高めることで、歩行者中心のまちの骨格を形成します。

